

盛土の品質管理に

衝撃加速度測定装置

JSE-367G



迅速性、容易さを要求される
施工管理に最適です！！

株式会社 ピース

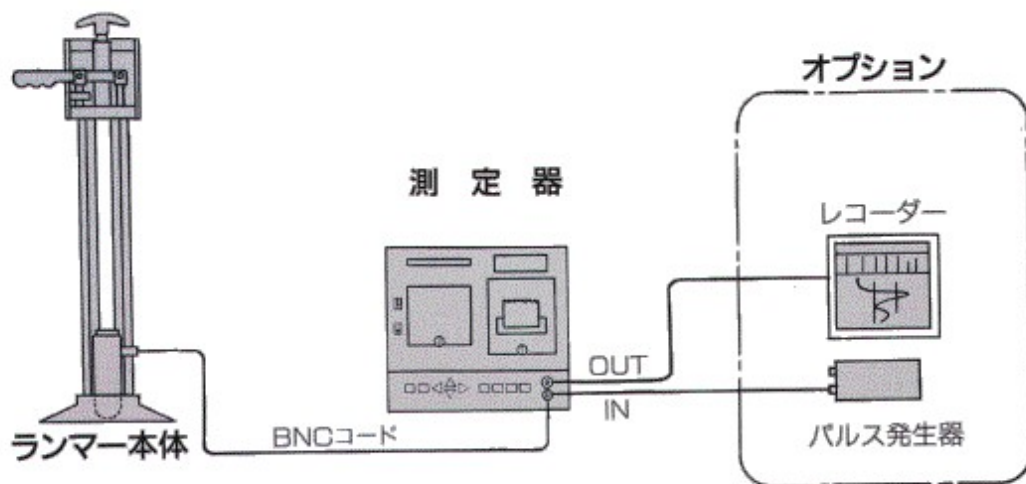
概 要

本装置は、工事現場などにおける土の密度の大きさを測定するためのもので、従来の方法として、土を砂に置き換えた砂置換という方法で土の密度を測定していましたが、装置が大がかりなことと、測定結果が出るまで数日間を要するなどの難点が生じていました。従って、これらの難点を解決し、作業の効率化を図るために開発されたのが今日の製品です。

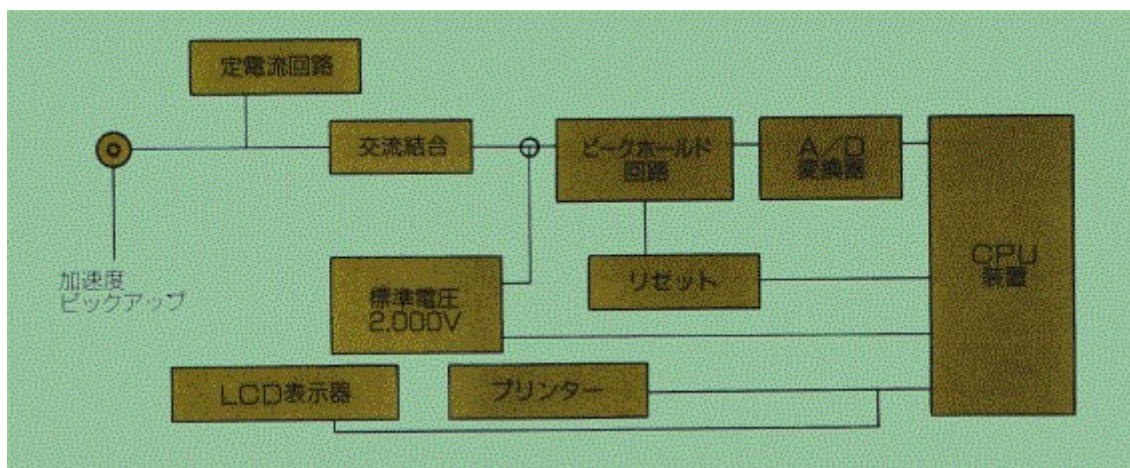
特 徴

- **測定データをその場で現場に反映できます！**
砂置換法の場合、測定結果が出るまで役1～2日間を要しますが、本装置の場合、施工現場で結果が出るため、その場で締固めの良否の判定ができますので、作業がより効率化されます。
- **作業能率が飛躍的に向上しました！**
砂置換法の場合、ジャー、アタッチメント、ベースプレート等、種々の器具のほかに、最低15Kg（5Kg×3袋）の置換砂が必要で、2名程度の作業員を必要としますが、本装置の場合は、ランマー本体と測定器（肩掛け式）を1人で持ち運ぶことができます。
- **作業時間を大幅に短縮！**
従来の砂置換法に比べ、本装置はウェイトを落とすだけの作業で済むため、非常に簡単です。現場での測定時間は役1／5に短縮されます。
- **フィールド条件に適応した構造です！**
ランマー本体はもちろん、測定器においても、フィールドにおける砂ほこりや風雨を完全にシャットアウトできる構造に設計されています。

構成図



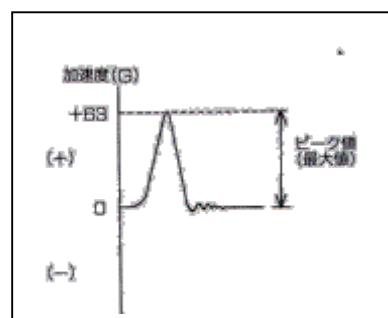
回路構成図 (測定器)



最大加速度を表示します。

ランマー本体のウェイトに内蔵された、電圧型の加速度センサーにて、ウェイト落下時の最大加速度 (G) をピックアップします。

右図の様に測定値は (+) 域の最大値 (ピーク値) をホールドし表示します。

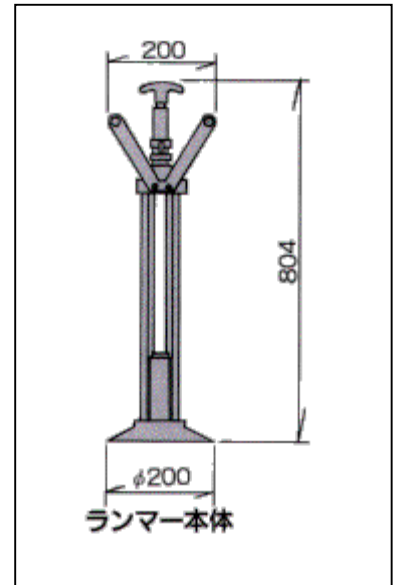


仕 様

品 名 衝撃加速度測定装置
型 式 JSE-367G

■ ランマー本体

支 柱 3本支柱固定型（水平器付）
ウェイト落下方式 ワンプッシュレバー式落下装置
外 形 寸 法 $\phi 200 \times 804 \text{Hmm}$
重 量 約 7.9 Kg



■ 測 定 器

名 称	仕 様
チャンネル数	1 CH
変 換 器	TEAC(株) 電圧型加速度センサー
入力レンジ	367G 固定
精 度	367G $\pm 1\%$ 外気温-20 \sim +40 $^{\circ}\text{C}$
ピーク値	(ホールド機能付) リアルタイムにデジタル表示

名 称	仕 様
アナログ出力	$\pm 3.67 \text{V}$
記 録 (ピーク値)	サーマルプリンター
データメモリ	MAX60データ
電 源	AC100V バッテリ内蔵

付 属 品

BNC ケーブル $\times 1$ 、記録紙 $\times 1$ 、測定器用充電ケーブル $\times 1$
六角レンチ $\times 1$ 、ウェイト固定爪 $\times 1$ 、ロックナット締め付け棒 $\times 2$
ランマー収納ケース $\times 1$ 、加速度確認棒 $\times 1$

販売元 株式会社 ピース
〒063-0813 札幌市西区琴似3条3丁目4番38号
TEL/FAX (011)611-9407
担当 阿部 携帯 (090-5952-8993)